小5理科 もののとけ方 No.3

答えの 選択肢の ○を 1つだけ ぬる。
まちがえたら けしゴムで けす。

なまえ

出席番号　　必要な人は書く

問1 食塩を水にとかすとき、水の温度を上げると、食塩が水にとける量はどのように変化しますか。

○ 少しずつ減る　○ ほとんど変化しない　○ 急激に増える　○ まったく溶けなくなる

問2 ろ過をするときなどに、液を注ぎ入れるために使う器具は何ですか。

○ メスシリンダー　○ ビーカー　○ スポイト　○ ろうと

問3 右利きの人が上皿てんびんを使って重さをはかるとき、左側の皿にのせるものはどれですか。

○ はかるもの　○ 一番重い分銅　○ 一番軽い分銅　○ 薬さじ

問4 ホウ酸を限界まで溶かした水溶液から、溶けきれなくなったホウ酸を粒として取り出すには、水溶液をどのようにすればよいですか。

○ 水溶液を温める　○ 水溶液を冷やす　○ 水溶液を激しく振る　○ 水溶液に日光を当てる

問5 水にとける量の限度よりも多くの食塩を水に入れたとき、水の中の様子はどうなりますか。

○ とけきれなかった食塩が、とけ残りとして出てきます。　○ 食塩がすべてとけて、水がなくなります。
○ 食塩がすべてとけて、上のほうにうきます。　○ 食塩がすべてとけて、あわが発生します。

問6 メスシリンダーで液体の体積をはかるとき、メスシリンダーはどのような場所に置いて使わなければなりませんか。

○ 高いところ　○ かたむいたところ　○ 水平なところ　○ 日当たりの良いところ

問7 水の温度が同じとき、水の量を2倍に増やすと、そこに溶かすことができるものの量はどのように変化しますか。

○ 2倍になる　○ 変わらない　○ 半分になる　○ 4倍になる

問8 温度が下がると溶ける量が大きく減るホウ酸やミョウバンを、水溶液の温度を下げることで固体として取り出す方法を何といいますか。

○ 溶けているものの取り出し方（温める）　○ 溶けているものの取り出し方（冷やす）
○ 溶けているものの取り出し方（水を蒸発させる）　○ 溶けているものの取り出し方（ろ過する）

問9 メスシリンダーを水平なところに置いて使うのは、何をするためですか。

○ 液体をきれいにろ過するため　○ 液体の温度を一定にするため
○ 液体を早く蒸発させるため　○ 液体の体積を正しくはかるため

問10 水の温度が高くなるほど、水に溶ける量が急激に大きくなる性質をもつ物質はどれですか。

○ 木や紙　○ 食塩や砂　○ 鉄やプラスチック　○ ホウ酸やミョウバン

問11 水を蒸発させることで固体として取り出す方法は、溶けているもののどのような性質に適していますか。

○ 温度が変わっても溶ける量がほとんど変わらない性質　○ 温度が上がると溶ける量が急に増える性質
○ 温度が下がると溶ける量が急に減る性質　○ 水にまったく溶けない性質

問12 水の温度を高くしても、水にとける量がほとんど変化しない物質はどれですか。

○ ミョウバン　○ 食塩　○ ホウ酸　○ 砂糖

問13 食塩水を作るために、食塩をとかす液体は何ですか。

○ 牛乳　○ 油　○ 水　○ お酢

問14 水に食塩をとかしたとき、とかす前の「水と食塩の全体の重さ」と、とかした後の「食塩水の全体の重さ」の関係について、正しいものはどれですか。

○ 食塩が水に溶けると重さは完全になくなる　○ とかした後のほうが重くなる
○ とかした後のほうが軽くなる　○ とかす前ととかした後で重さは変わらない

QRを 読んで 答え合わせ
答案を 撮って 自動採点
点数は マイページに ためよう